

課題研究計画書作成上の留意事項

1. 研究課題名

研究の目的、内容を的確に表した具体的な課題名を記入してください。

2. 研究期間

開始と完了の期日を記入してください。研究該当年度内の 4月1日から1月31日 (研究Ⅱの場合は翌年の1月31日, Iの場合は翌々年の1月31日) までの期間内で設定してください。

3. 研究に要する額

「7. 研究費内訳」欄に記載する各科目の金額の総計を記入してください。

研究Ⅰは、初年度と2年目それぞれの金額とその合計金額を、研究Ⅱは合計金額のみを記入してください。

4. 本研究の背景

研究の学術的背景(着想に至った経緯、これまでの研究成果、本研究に関する国内外での動向)を記入してください。

5. 研究目的

研究の必要性とその背景が理解、把握できるように焦点を絞り、具体的に記入してください。

6. 研究の方法

研究の目的達成のためにどのように研究を進めるのかについて、研究費との関連が明らかになるように簡潔に記入してください(記入内容例: 研究対象者・規模・地域、倫理的配慮、研究実施期間、調査項目と評価尺度、研究手順、データ分析の手段と計画等)。なお、研究Ⅰは初年度と2年目を区切って記入してください。

7. 研究費内訳

研究に関わる会計処理については、基本的に一般社団法人日本作業療法士協会の会計処理規程に準じて行います。研究の所要経費については、研究目的に照らして合理的な研究計画を立て、適切な額を計上してください。なお、各科目の額は、別記「課題研究助成金の対象科目と会計処理」に基づき積算してください。

8. この研究の特色と作業療法の成果（有効性）に役立つ理由

研究Ⅰでは、本研究によって主に作業療法のどのような効果を明らかにしようとするのかが判るように記入してください。

研究Ⅱでは、本研究によってどのような成果が得られるのか、例えば、作業療法効果を明らかに示していくために役立つアイデアやビジョンを提示する、または、実践に役立つ技術論・方法論を提示するなど、期待される成果とその特徴を具体的に記入してください。

9. 研究代表者の応募資格（論文、学会発表等の研究業績）

研究代表者について記入してください。

研究Ⅰ：正会員歴が満 3 年以上あり、作業療法に関する学会発表（筆頭）が 2 編以上ある者

研究Ⅱ：作業療法の実践業務に従事（所属）する者^注で、正会員歴が満 3 年以上あり、作業療法に関する学会発表（筆頭）が 2 編以上ある者

注）養成施設の教員や研究所の職員等、作業療法の実践業務を主としない者は含まれない

研究Ⅰ・Ⅱ共通：本制度への応募にあたっては、研究倫理教育研修「例：日本学術振興会研究倫理 e ラーニングコース等」の受講修了（研究責任者・実施者だけではなく、共同研究者も含む）が必要です。詳細は、協会ホームページ「研究倫理教育の受講のお願い」をご確認ください。

10. 本課題に関連した過去 5 年以内の研究実績

今回計画した研究に関連がある過去 5 年以内の研究の実施状況、あるいは予備的研究などのストックがある場合も記入してください。

11. 研究組織

共同研究者の氏名、所属、職種、分担内容について記入してください。